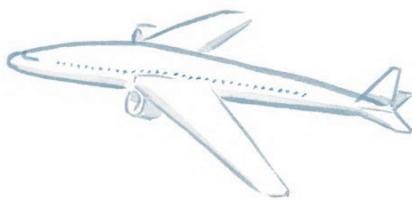


時刻表外オンデマンド

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

この7月末、イングランドのサッカーチーム、リヴァプールFC（フットボールクラブ）が来日します。今季、英国プレミアリーグで優勝し、世界的人気を誇るリヴァプールFCは、地域やサポーターとのコミュニケーションをとっても大切にしており、JALグループもその姿勢に共感し応援しています。この機会に、日本の皆さまにその魅力がより伝わればと願っています。

さて、今回チームの皆さまはJALのチャーター便でお越しになります。このような、時刻表には載っていない特別便は、ダイビングを楽しむパラオ便、ヒマラヤ登山に挑戦するネパール便、学生の方々向けの周遊フライトなど、さまざまな目的にあわせて運航しています。私も過去に何度か乗務したことがあります。事前にお客さまの旅の目的を共有することもあり、より思い出深い唯一無二のフライトにするために、乗務前からあれこれと想像を膨らませたものでした。機内では、同じ目的を持つお客さまの高揚感に私たちも自然な形で溶け込み、まるで大家族のような一体感が生まれるのも特別便ならではの体験だったように思います。



また、特別便は緊急時の輸送ニーズに应运え運航することもあります。鉄道の不通時や、被災地へ救援物資を届ける場合など、社会的な使命を担う重要な役割です。一刻を争うこのようなケースでは、社内外がぎゅっと団結し、滑走路は着陸できる状況か、適切な機材や飛行ルートは確保できるか、現地で整備や地上業務を担う人員はいるか……など、一便を運航するために必要な要素を、

速やかに、かつ確実に、ひとつずつ積み上げていきます。そうした中で、お客さまや社会の皆さまの物心両面の安心に、微力ながらお役に立てたと実感できたときは、心からの安堵を覚えます。同時に、1日1000便近く運航している日々の定期便も、いかに多くの仲間や関係の方々を支えられているかに改めて気付かされる瞬間でもあります。

JALグループはこれからも、安定したネットワークに加え、特別便や、利用者のスケジュールを最優先したプライベートジェットなど、時刻表にはない輸送力にも磨きをかけて、社会を支える翼でありたいと思います。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

※リヴァプールFC来日については、本誌A10「Embrace New Challenges JAL REPORT」もあわせてご覧ください。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1986年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマーエクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



たびとりどり

代表取締役社長グループCEO

鳥取三津子